



プロバスだより

2013年11月14日発行

東京八王子プロバスクラブ

第216号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

創立 1995 年 10 月 18 日

気軽に交流を楽しむクラブ

2013～14年度 テーマ ー優れた運営の仕組みを継承し、会員活動をより楽しくしようー

第 216 回例会

日 時：平成 25 年 10 月 10 日(木) 12:30～14:20

場 所：八王子エルシィ

出席者：61 名 欠席者：10 名 出席率：85.9%
(会員総数 71 名 休会 0 名)

会食とハッピーコイン披露

戸田例会委員長の合図で会食を始め、会食中に土井俊玄副会長より 13 件のハッピーコインの披露があった (5 ページに掲載)。

開会 戸田例会委員長の司会で開会

本日の配布資料の確認。

1. 挨拶 荒会長



皆様こんにちは。“今日は大変爽やかな秋の季節”と思っておりましたが、未だ夏の暑さが残っております。

今年度も第 1 四半期を経過し、それぞれの委員会活動

は順調に遂行されているとの報告を受けております。その中で、来年 3 月～4 月に行われる生涯学習サロンの全講座の話し手が決まりました。ただ、この 1、2 年に入会された方の話し手がおられなかったこと、大変寂しい思いがします。来年度からのサロンには、入会間もない方が、話し手として参加して頂くと、サロンがより一層盛り上がるものと思います。是非、新しい会員の方が、話し手にチャレンジされることを期待します。

次に、八王子いちょう祭りに協力の件です。ご存知のように、当プロバスクラブの大野聖二初代会長や佐々木研吾元会長が一緒になって大きく育てられたお祭りです。今年も例年通り 11 月 16 日(土)、17 日(日)に開催されます。ボランティア

アとして参加される以外の方々も多数参加され楽しんで頂きたいと思います。

2. お客様の紹介とご挨拶

東京多摩プロバスクラブ会長 増山敏夫様
地域奉仕委員長 大沢 亘 様

増山会長のご挨拶



当クラブは、創立 10 周年を迎えました。記念事業として公開講座を開催します。

公開講座につきましては地域奉仕委員長の大沢から説明いたします。

多くの方の御聴講をお願いします。

大沢地域奉仕委員長のご説明



東京多摩プロバスクラブ創立 10 周年記念事業の一環の公開講座について説明いたします。

演題：「首都直下型地震とそれを取り巻く環太平洋地殻変動」

日時：平成 25 年 11 月 10 日(日) 14 時～16 時

場所：京王線聖跡桜ヶ丘駅前

VITA 8 階 多摩市関戸公民館大会議室

講師：東京大学名誉教授 瀬川爾朗氏

地球物理学・海洋物理学専門 理学博士

岩手県出身・岩手県人連合会会長

東京日野プロバスクラブ会員、次期会長

問合せ：東京多摩プロバスクラブ事務局

平田宅 042-338-7022

主催：東京多摩プロバスクラブ/関戸公民館

どうぞお出掛け下さいますようご案内致します。

3. パースデーカード贈呈



今月も池田会員手作りのパースデーカードが、荒会長より下記 10 名の会員に贈られた（敬称略・写真左から）山口、矢島、戸田、古川、荒、土井俊玄、立川、岡本、大野幸二、小林時雄。

4. 卓話 「B級コレクション コインの話」

野口浩平



本日、会場に飾ってあるコインは、昔、40 数年前に世界を旅していた時、集めた物ですが、今日は日本のコインについて話をさせていただきます。

貨幣は紙幣と硬貨に区別されますが、紙幣は日本銀行の発行、硬貨は政府の発行と分かれています。

江戸時代は、通貨の単位に「文」が使われており、1 文銭の直径で大きさを測っていました。現行硬貨でも、1 円硬貨は1 グラム、5 円硬貨は1 匁、すなわち 3.75 グラムと重さを量れるようになっています。

本日お見せするアルバムは、5 年前から発行されている地方自治 60 周年の記念コインです。今からでも手に入り易いと思いますので、収集されたいかがですか。尚、今年の年号のコインのうち 1 円、5 円及び 50 円は市場に出てこないのではないかと思います。多分一昨年と昨年のコインは市場に無いようです。



昭和 62 年の 50 円硬貨は市場に出なかったため、コインセットのみでした。今からでも購入できそうですので如何ですか。コインの裏表は、日本国と書かれているほうが表となります。

以上、取り留めのない話でしたが、私の蒐集したコインにまつわる話でした。

5. 幹事報告 馬場幹事

10 月の理事会での議論の要旨を報告します。

(1) 「宇宙の学校」のクラブ内組織検討

9 月理事会での予備検討内容を八王子「宇宙の学校」運営本部へお伝えしたところ、早速内部で検討して頂き具体的な提案を頂きました。これをタタキ台として 11 月中に結論を出す予定です。「会則」と「運営細則」の改定が必要になりそうです。

(2) 5 月臨時総会における理事と会計監査の選任後の人事プロセスについて現在の問題点を整理し、「運営細則」の改定案を含む“人事プロセスの変更案”を策定しました。

(3) 地域奉仕委員会の負荷軽減策について

本件は荒会長から提起された課題です。①野外サロン②いちょう祭りや健康フェスタについて他部門で分担する等の検討を開始しました。「運営細則」の改定が必要になる可能性があります。

(4) 「会則」と「運営細則」の改定について

(1) 項～(3) 項の実施には「会則」や「運営細則」の改定が必要になる見込みです。

このような場合には過去には“会則等の改定委員会”を立ち上げて、ここで議論し改定案を策定して来ました。今回は変更や追加内容が「会則」や「運営細則」の基本構成に及ぶことはなく、付加的な事項に留まると推定されること及び時間的な制約もあり、以下の手順で進めさせて頂きたいと考えています。即ち理事会が中心となり「宇宙の学校」運営本部等の支援を得て改定案を策定して例会に報告し、会員の意見も聞いた上で最終案を取り纏めて、5 月の臨時総会に諮り承認を得たいと考えます。承認を前提として事前準備を進める期間がありますが、ご了承下さい。

(5) 会員のメールアドレスについて会員委員会で一元的に管理する。理事会メンバーにはコピー

を配布する。会員は必要があれば委員長（委員会に所属しない会員は会員委員長）を通じて入手可能とする。

6. 委員会報告

(1) 例会委員会 戸田委員長

会員総数 71 名 出席数 61 名 欠席 10 名
出席率 85.9%、久しぶりに 90% を割った。

(2) 情報委員会 田中委員長

プロバスだより第 215 号は東山会員の編集によるもので、新たに又一人編集可能者が増えた。校正の皆さんのご協力と投稿頂いた皆さん方に大いに感謝。プロバスだよりに関する皆さんからの気軽なご意見を期待。

(3) 会員委員会 荻島委員長

- ・クラブ全体の会員名簿、入退会記録等の整理
- ・各会員の個人資料のパンチカード化検討
- ・会員のメールアドレス帳の作成

以上の作業を会員委員会で開始する。

(4) 研修委員会 河合委員長

- ・11月14日は野外研修を兼ねた月例会。
- ・野外研修の参加者は現在43名で、まだ余裕あり。
- ・先に会員へ配布された「ご案内書」の内容通り野外研修の行程及び視察・見学のポイントについて説明あり。

(5) 地域奉仕委員会 内山委員長

- ・生涯学習サロン日程の概要説明

開講式 2月27日(木) 13時30分開始

特別講話「万葉集について」

講師：NHKプロデューサー 小川正己氏

第1週 3月14日(木) 14時開始

第2週 3月27日(木) 14時開始

第3週 4月10日(木) 14時開始

野外サロン 4月24日(木) 山梨方面の予定

閉講式 5月8日(木) 13時30分開始

特別講話「外交官生活の舞台裏」

講師：元アフガニスタン駐在大使 駒野欽一氏

さよならパーティー 17時開始

- ・いちょう祭りの件

各委員会委員長を通して、協力参加をお願いしており、各委員会からの参加人員が確定した

時点で、協力参加者には資料（集合場所・時間等）を直接お渡しする。

(6) 交流担当 浅川理事

・10月には、3クラブ（多摩プロバス、日野プロバス並びに八王子プロバス）から参加される合同の「囲碁の大会」と「ゴルフの大会」が盛大に行われる予定。

・先に東京多摩プロバスクラブ様からご案内のありました「10周年記念の記念講演会」には、皆さん、是非出席されるようお願いいたします。

7. 「宇宙の学校」報告 下山運営本部長

(1) 9月に行った第2回スクーリングについては、プロバスだより第215号をご覧ください。

(2) 第3回スクーリング

①本部会場：教育センター内体育館

日時：10月19日(土) 12時受付開始

注) スタッフは10時集合。

②八王子北高校会場

日時：10月26日(土) 13時受付開始

テーマ：①、②会場共、「ホバークラフトを作ろう」です。

(3) 来年度の計画や馬場幹事の報告の通り、「宇宙の学校」のクラブ内組織、体制等についての検討が進められております。

8. 同好会報告

(1) ゴルフ同好会 米林会員

・多摩地区の合同コンペを10月24日、相武カントリーで開催します。現時点での参加者は合計24名（八王子11名、日野9名、多摩4名）、6組で開催予定です。

・八王子PC単独で今年最後のゴルフコンペを11月22日、GMG八王子ゴルフ場で開催します。出来るだけ多くの方の参加をお願いします。

(2) 歴史同好会 土井俊雄会員

増田会員にご協力をいただいて、台東区の遺跡巡りを11月に実施計画しておりましたが、11月には、野外研修がありますので、来春に延期します。開催近くなりましたら、改めて詳しくお知らせします。

(3)写真同好会 矢島会員

・久し振りに、「秋の紅葉写真撮影会」を次の通り予定しています。

日時：12月2日（月）7時 JR 八王子駅南口

場所：千葉県養老溪谷

費用：8,800円（昼食付き）※

※旅行会社クラブツーリズム企画「写真撮影の旅/バスツアー」に便乗します。

後日、同好会メンバーの皆さんには、詳細な案内をします。同好会メンバー以外でも紅葉の溪谷を散策されたい方は是非ご参加ください。

・会員の顔写真の再撮影の件

前回撮りました写真が不鮮明の方（予め指名された方）は、例会後もう一度スクリーンを背景に撮影し直します。

(4) 麻雀クラブ 矢崎会員

11月19日の例会は、休会とします。10月、12月の例会は、通常通り行います。

(5) 俳句同好会 河合会員

毎月、プロバスだよりに俳句同好会会員の作品が掲載されています。今月号には、10名の作品が載っております。今月から、暫らくお休みされていた山形会員が復帰され総計11名で、賑やかに、内容の濃い、楽しい会を開いております。興味のある方は、はじめは見学でも結構です。是非、ご参加ください。

(6) 旅行同好会 山崎会員

本日例会後、旅行の打合せを行いますので、一階喫茶サロンにお集まり下さい。

(7) 囲碁、美術鑑賞、お茶の各会：報告なし

9. その他

(1) 平成25年度大久保長安没後四百年記念事業「大久保長安と八王子」のご案内

大野聖二会員



・大久保長安と伊那熊蔵の花押入りの文書（大野家文書：大久保長安が千人同心にかかわる唯一の資料）によると、千人同心の土地であった山根筋中野郷（現八王子中野地区）を取り上

げて、上総の国の緒郷に知行替えしている。このことは大久保長安に対する千人同心の愛情が薄かったことや、支援が得られなかったことの大きな原因では無かったかと思われま

す。
・並木町にある長安寺の軒先に水戸黄門の葵の紋があります。このことを独自に調査したところ、八王子合戦の時、山中勘解由は山頂要害部の松木四輪を守った勇猛さが、後に家康の耳に入り、山中勘解由の長男照守（後に父、勘解由の名を継ぐ）、二男の信吉が水戸家家老に取りたてられ、次いで信吉の子（勘解由の孫）中山信治も水戸藩家老となる。一方、千人同心の島村豊後は大久保長安を慕って、戒名を島村長安居士として開基、長安寺は大久保長安の13回忌に創建された。

水戸藩家老中山信治の関わりがあり、長安寺に葵の御紋が許された経緯や八王子に大久保長安のお墨付きがあったことも分かりました。

・大久保長安が八王子で行った大きなことは、追分の交差点を造ったことです。追分交差点から冬至の日（一陽来復）に夕陽を見ますと高尾の山頂に沈み、その裏に富士山が一直線に在ります。このことから、長安が、“陽運を期待できる八王子のまちづくり”を考えたと推測します。

「大久保長安と八王子」に関わる興味深い内容を交えながらのご案内でした。

(2) パースデーカードへの思いについて

絵手紙作家 池田ときえ会員



毎月、クラブ会員、お一人、お一人の顔を浮かべながら、私はラブレターのつもりで描いております。

色紙タイプのパースデーカードを描き始めてから、

この10月で、5年目を迎えます。

私のことなのですが、郵便局で販売している絵葉書を担当しております。この5年の節目に当たる今月から向こう1年間、季節ごとのバージョンの絵葉書5枚ずつ、パースデーカードに添えたいと思います。久しくご無沙汰している方にお手紙を出して下さい。

皆さん、10枚目を頂けるように努力して下さい。私も一生懸命、体に気をつけます。

(3) 全日本プロバス協議会からの報告とご案内 立川会員



・昨年 11 月の全国総会で、会長、幹事が横濱 PC に決まりました。立川は東日本担当の副会長として留任し、10 年目に入りました。

・関東ブロック交流会開催の案内

期日：平成 26 年 2 月 3 日（月）

場所：八王子エルシィ

ホストクラブとして、遠来のお客様をお迎え、他のクラブとの交流を深めていただきたい。

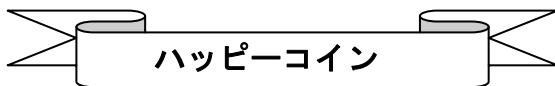
来月の例会にて、文書でご案内します。

10. プロバスソング斉唱



11. 閉会の挨拶 土井俊玄副会長

今日の卓話は、楽しい「コインのお話」でした。これからも気楽に、楽しく、お話をして頂ければ、素晴らしいことと思います。



◆おだやかに誕生日迎えて幸せ。一つ不満は曾孫の顔がまだ見られないこと。立川富美代

◆多摩地区を中心に開催された東京国体は、2 位の大阪に大差をつけて男女共東京が 1 位になりました。次は東京オリンピックです。岡部 洽

◆高校恩師の米寿のお祝いに大勢が参加。50 年ぶりに出席した人もあり幹事としてハッピーな 2 日間でした。飯田富美子

◆9 月に孫が結婚しました。曾孫が出来るまで頑張れるかな？ 岡田 尚

◆万歳。2 度目の麻雀 3 連続優勝達成。次は 4 連覇か。乞うご期待。東山 榮

◆初めてハッピーコインに参加させて頂きました。今月 66 才になります。山口三郎

◆誕生日でありありがとうございます。戸田弘文

◆先日、年齢制限の為、最後の献血を行いました。生涯献血、485 回でした。野口浩平

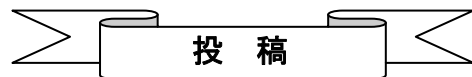
◆10 月 12 日、54 回目の結婚記念日を迎えます。竹内賢治

◆ドイツに住む孫娘が無事小学校に入学し、友達も大勢出来て、楽しく学校に通い始めました。私達もホッとしています。岩島 寛

◆去る 9 月 15 日(日) 西本智実 (にしもとともみ) プロデュース公演「カルミナ・ブラーナ」に八王子フィルハーモニー合唱団として賛助出演し、無事歌い終えホッとしています。岩島 寛

◆飛ばない紙飛行機を見て「おじいちゃんは、もっと上手に飛ばしたぞ」とつい自慢したくなりました。一宇宙の学校にて— 荒 正勝

◆去る 6 日、金毘羅さんの 800 段階の階段を昇れるかどうか考えていたのですが、とうとう上まで昇ってしまいました。土井俊玄



「ベトナムで日本稲栽培試験にかかわったころ」

橋本鋼二



TPP に参加するか否か、どれだけ条件をつけられるか、農業問題、特に米の輸入が交渉の重要課題となっている。ベトナムで日本への米の輸出を探った昔のことを思い出した。

関わりを持った時代と背景

1993 年秋、ウルグアイラウンド農業交渉合意から、日本は外国米の輸入を認めざるを得なくなった。アメリカ、オーストラリア、中国、東南アジアの国々などが日本向けに短粒種を増産し、輸出しようという動きが出てきた。私がベトナムに関係したのは農水省を退職して間もない 1995 年 7 月、米問題はデリケートで海外技術協力は O B

でなければ参画しにくかった。

ベトナム戦争が終わって 20 年後のことである。手がけたのは南北ベトナムで実施した日本の良食味米品種の栽培試験。機会があれば日本に輸出したいという現地側の期待を背負った民間主導のミニプロジェクトであった。

共産圏諸国の経済不振から、ソビエトの援助も期待できなくなっていたが、1986 年から始まったドイモイ（改革）政策により米の生産が伸びて主要な輸出産品となり、戦後復興に寄与していった時代である。

南北ベトナムで日本の良質米品種を栽培してみたが

試験栽培の材料は日本の良質米品種を中心に揃え、北はハノイの東の 2 省で、南はメコンデルタ地帯のカントー省に試験圃を設けた。年に 2～3 回米が取れる地域なので、いろいろな時期に栽培させてみた。ベトナムの米はパサパサした長粒種で、粘り気の強い短粒種は全く栽培されていないし経験もない。

収量は現地品種より低いので、それを補う高価格で売れなければ普及しない。致命的だったのは、有名な良食味品種でも味が落ちたのである。原因はいくつかあるが、貯蔵法、精米の仕方などベトナム流では駄目なことが判った。加えて、彼等の舌が、日本人の米の味の評価とかけ離れている。アメリカやオーストラリアの短粒種と競争して日本国内で評価されるには、超えなければならぬバリアーがたくさんあるというのが 2 年間の結論であった。

ベトナムとのつきあいの中で

2 年間で 4 回、南北ベトナムの各地を訪れる機会を得た。首都ハノイやホーチミンの国際空港では、乗客は飛行機と空港ビルの間を、「神戸市交通局」などと前歴がそのまま残る中古バスで往来していた。国内で長い間戦争があったとは言え、20 年たっても、その貧しさは東南アジア諸国の中でも際立っていた。

北ベトナムの農村では共産国らしい地方組織の肩書きを持つ人々や、農民たちと幾度か会食す

る機会を得た。田圃で取れる田螺や川魚は土臭く、家禽や豚の臓器や足などを使った料理も口に合うものではなかった。精一杯もてなそうとする姿と貧しい食事の内容は、この国の苦難の歴史を想像できた。

大都会の人の集まる所では、外国人と見ると寄って来て小銭をせがむ子供たちが少なくなかった。行をともしにするベトナム農業省関係者から「一人にでもあげると、多くの子供たちが寄ってくるので絶対にやらないように」と言われていた。

訪れた官庁、研究機関では、ソビエトや東ヨーロッパの国々、あるいはインドなどで学位を取った方々と接する機会が多かった。一部では、日本の研究所や大学と連携し活動を始めた所もあり、日本への関心は高かった。

ベトナムにまつわる思い出

忘れられない思い出が二つある。その一つは、1975 年 4 月 30 日、タイで技術協力専門家としての仕事を終え、バンコクを旅立った日がサイゴン（現在のホーチミン）陥落の日で、これからどうなるのかと衝撃をもってそのニュースを聞いた時である。

二つ目は 1995 年 10 月、南北ベトナムを回り 24 日には仕事を終えてホーチミン市へ向かう途中、メコン河を舟遊、船上で皆既日食を経験したことである。現地でも関心が強かったようで、遮光用具を持ち、空を眺めている人々の姿が目につかぶ。段々辺りが暗くなり、およそ 2 分間真っ暗になり、星が見えた。昼ごろであったか、暗黒となった太陽が再び戻る。上陸した人が住む島では、明け方のように雄鳥が鳴く声が耳についた。思いもかけず体験した貴重なあの一時が、今でも眩しく思い出される。

「遠い風景」

古川 純香

猛暑の夏、大雨、洪水、竜巻、地震と、災いが出揃った感じ。地球は怒っている。こんな折、フト昔の我が家での冬の景が思い出される。懐かしい父母、幼かった兄達、様々な動き、まさに私の原風景。穏

やかだった自然、もどりたい思いです。少しは身心涼しくなりました。

雪の音



東北の仙台の北の町に育ったころは、雪が積もり真昼の明るさが益々明るくなる雪は、まさにコンコンと降り、夜にはシンシンと音もかすかに、屋根も木々も厚く白布で覆われてしまいます。そんな

日々のソリ遊び、雪合戦。ふんわりの雪は、われわれチビグループの長靴の底で、ツルツル、テカテカに光る。斜面をソリで下る時は、王様気取り。朱色の手袋で雪をつかみ、おにぎりを作る。キシキシの音。えいと飛ばし、相手に当たった時の快感。患者さんに呼び出され、父はよる往診に出かけます。帰ってきた時のパッパッと叩くインヴァネスの雪とカチカチとした雪下駄の音。

雪の白

朝起きて庭を見ます。父が愛した松のいろいろ、黒松、赤松、五葉の松にかぶさった白衣。「松風の胸に滲み入る雪の宵」、父の作。そんな中、霜枯れた楓の葉、竹笹がちよっぴり頭を出しています。降る雪は張り替えられた障子をさらに白くさせます。寒々とした古い障子が懐かしい。少女の頃の雪は重く落ちるよう。自分の頭には落ちてこないような、心のハズミとメリハリを作ってくれたようです。

火の音

火というと火鉢とそれを囲んでいる母やおとなたち、懐かしいものです。黒炭がパチパチと音をさせ顔にかかります。お風呂の薪、ゴーツと地鳴りの音、お灯明につけるマッチのスーツという音、人工的な音は一人で聞くのは恐ろしいものです。

火の赤

大晦日の夜は神迎えにと氏神様にお供えし祈ります。ローソクと供物を手に兄たちと出て行きます。父が火を灯します。赤々とした焰は、沈んだ白の夕暮れを照らし、しゅしゅと出て、いそいそと家に入ります。火鉢に大きな胴炭、五徳を囲むように仲良く並

んだ炭々。黒が赤に染まる、火箸を握る母のほの白い手が偲ばれます。南天の赤い実が白の大地から丸い芽を出しています。火の玉のよう、びっくり、雪の白、火の赤、陰と陽、紅白の思い出です。

「日本人の起源」

岩島 寛



年を取るに従って、我が来し方、日本人の歴史を知りたくなるものである。私は今こそ頭髪は少なくなったが、基本的に毛深く、山野に行くと生き生きしてくるところを見ると、縄文系（狩猟採集民）の要素

が強そうであり、女房は逆に弥生系（農耕民）のようである。

本州、九州などでは、先住の縄文人と後から大陸から来た弥生人との混血がより進んだのに対して、南北に離れた地域、すなわち、北海道のアイヌ民族と沖縄の人たちは、縄文系の遺伝的特徴が多く残っていることが国立遺伝学研究所などの解析で明らかになった。北海道と沖縄では住む場所がかなり離れており、遺伝的特徴は遠くなるのが普通だが、日本列島のユニークさを反映していると言う。（2011. 11. 1. 朝日新聞）

アイヌ民族と沖縄の人たちは成人 T 細胞白血病の感染者が本州・四国・九州の人たちに比べて異常に多いことが以前から知られており、この点からも、彼らが同一民族すなわち縄文人に近い特徴を持っていることが窺い知れる。ここで、成人 T 細胞白血病（ATL）は、ATL ウイルスの感染によって起こり、日本人の約 120 万人が感染しており、感染ルートは母乳が主で、潜伏期間が長く、発症するのは 40 歳以上、特に 60～70 歳に多く見られ、およそ年間 700 人が発症する。大半の人が発症しないが、発症すると治療が難しい。この ATL ウイルス保持者が特に多い地域が、アイヌ人（集積率 45%）、次いで沖縄の人々（35%）と言われている。本州、四国、九州でも鹿児島県、宮崎県、長崎県佐世保市、対馬、五島列島、天草、島根県隠岐、四国宇和島市、紀伊半島先端地方、

東北石巻市、岩手県三陸地方、秋田県象潟地方は比較的集積率が高いと言われる。

古事記に登場する日本武尊による熊襲征伐、平安初期の坂上田村麻呂による蝦夷征討などからも推察できることであるが、数万年前に日本列島に渡ってきた縄文人は、紀元前5百年以降に水田稲作文化を持って渡ってきた弥生人によって南北へ次第に押しやられていった歴史的経緯が窺われる。しかし、全ての縄文人が純潔を守って南北へ押しやられたのではなく、弥生人との混血が進んで今日の日本人があることは確かである。この混血の比率は、人類学者と考古学者とで意見が異なるようである。

ミトコンドリアDNAやY染色体DNAの解析から、我々日本人のルーツは大陸の広い地域に散らばっており、それが様々な時代に様々なルートを経由して、日本列島に到達し、その中で融合していくことによって日本人が成立したことは明らかである。更にさかのぼって行けば、アジアの中で複雑に絡み合った道筋が、アフリカに向けて収束していく姿が見えるという。我々はしばしば国の成立と、集団としての日本人の成立を同一視しがちであるが、両者は分けて考えるべきものであることが分かる。何故なら、日本と言う国ができる以前に、日本列島には人が住んでいたのである。日本の周辺には我々の祖先である人々と親戚に当たる人たちの子孫が住んでいることを思えば、仲よくしてゆかねばいけませんね。(参考文献:「日本人になった祖先たち」篠田謙一 N HKブックス)

俳句同好会便り

河合 和郎

私の一句～10月の句会から

秋らしい秋もないまま季節は早や冬へ。しかし、プロバスの句会は情熱とチャレンジで白熱のバトル。今月の兼題は「秋深し」。

ビオロンの漏れくる館秋深し 山形 忠顕

音楽に造詣の深い作者の面目躍如。秋の深まりを音で描けた。「ビオロン」が詩的で素敵。

黄金色さざ波走るすすき原 石田 文彦

金色に輝き揺れる芒原の美しさを余すことなく詠み切っている。素晴らしい。

秋深む爛酒すこし熱くして 池田ときえ

少し肌寒さを覚える秋の夜、酒を熱めにして一人静かに飲む。いい雰囲気句。

悲しみの海山癒えず秋深む 立川富美代

大震災から早くも二年半。ふる里に刻まれた爪痕は消えない。「悲しみの海山」は悲痛。佳句。

秋深む個展の案内未だ来ず 田中 信昭

いつも来る個展の案内が今年はまだ届かない。友を想う心情が切々と伝わってくる。

木犀の香りに遊ぶ小鳥かな 飯田富美子

穏やかな秋の日の一景。庭で遊ぶ小鳥たちの姿を描いて佳句。「香りに遊ぶ」がうまい表現。

われ独身狎と月見の宴かな 東山 榮

虚の世界に遊ぶのもまた俳句の醍醐味。でも月見のお相手は「じん」のほうがよいのでは。

夕暮れて香りひときは金木犀 阿部 治子

作者は夕暮れの庭で金木犀の香りを楽しんでいる。平明で解り易い詠み方にも魅力がある。

検査値の改善ありて上り月 馬場 征彦

ほっとした作者の顔が浮かぶ。「上り月」に安堵感を託した。季語の使い方がうまい。

秋深し隣のおやじ不愛想 渋谷 文雄

俳諧味あふれる秀句。軽妙かつ洒脱。平成の名句になり得るか。(お隣の親父も同じことを)

内定といふ二文字や秋深む 河合 和郎

人生の出発点の最大の関門が就職。大学は学問の府か、就職の予備校か。若者よ大志を抱け。

編集後記:

近隣クラブの東京多摩プロバス様、創立10周年おめでとうございます。近年、東京多摩、日野、八王子の近隣3クラブは、ゴルフ、囲碁の同好会を通し、交流が盛んになりつつあり、プロバスライフの楽しみを感じます。

創立時から開講した「生涯学習サロン」は、すっかり定着し、3年前に開校した「宇宙の学校」のクラブ内組織化の推進、更に、2年後に迎える「我がクラブの創設20周年記念」の胎動が喜びとして感じられます。

情報委員会 阿部和也